

Q 断面図を作成するには

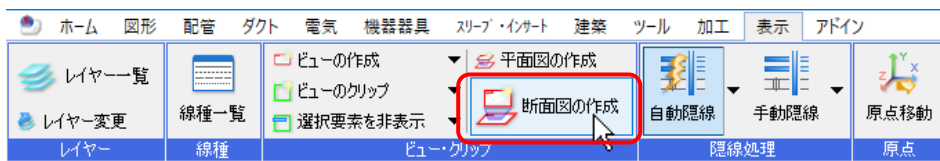
A1 [断面図の作成]で表示範囲を指定してビューを開きます

A2 [アラウンドビューからビューの作成]コマンドを使います

▼A1 [断面図の作成]で表示範囲を指定してビューを開きます

1 [表示]タブの[断面図の作成]コマンドを起動します。

1



2

断面のビュー名、縮尺、方向、高さを指定します。

ビューの名前に「〇-〇」の形式の文字を入力した場合、断面図記号(鉤型の矢印)に〇に記入した文字が表示されます。

[高さ]で表示範囲の高さを指定することができます。

※「〇-〇」以降に半角スペースをあげ文字を入力した場合、断面図記号に〇に記入した文字は表示されません。

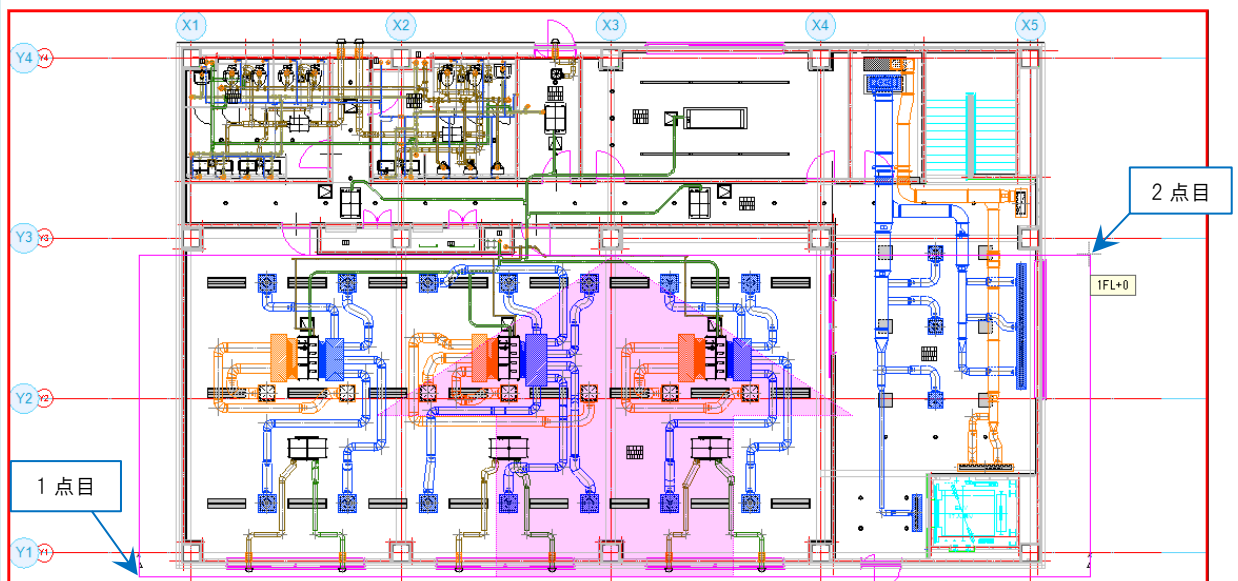
名前	断面図 A-A'	方向	<input type="checkbox"/> 背面	<input type="checkbox"/> ビューの角度を方向に合わせる	高さ	0 mm	5FL
縮尺	1/50	<input type="radio"/> 左面	<input checked="" type="radio"/> 正面	<input type="radio"/> 右面	~	0 mm	4FL
<input checked="" type="checkbox"/> 断面図記号の作成	詳細	設定		高さ			

チェックを入れると断面図記号を平面図上に作図します。

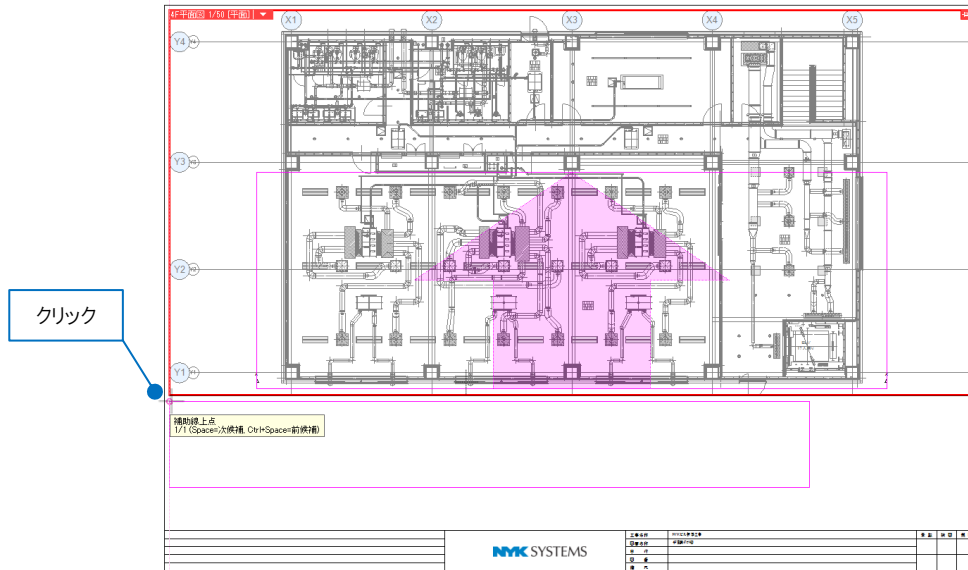


3

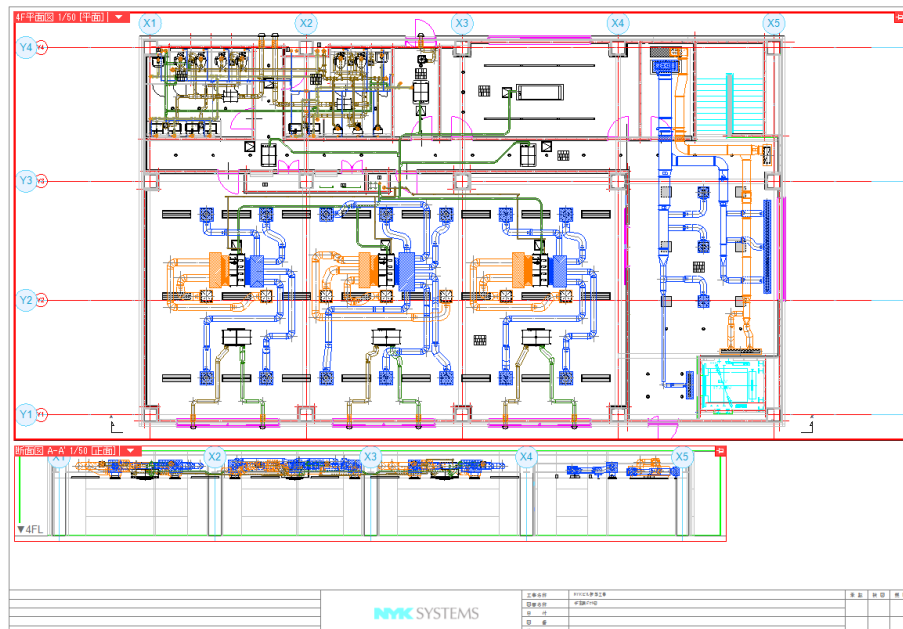
断面図に表示する範囲を平面図上で対角2点で指定します。



- 4 断面図を貼り付ける位置を指定します。



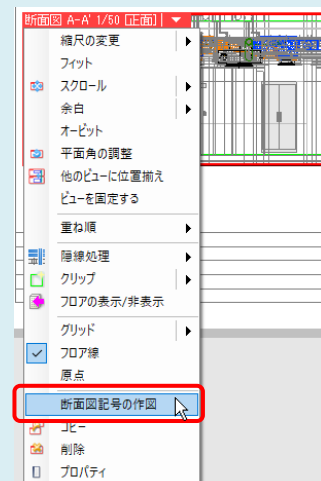
- 5 断面図が表示され、平面図上に断面図記号が記入されます。



●補足説明

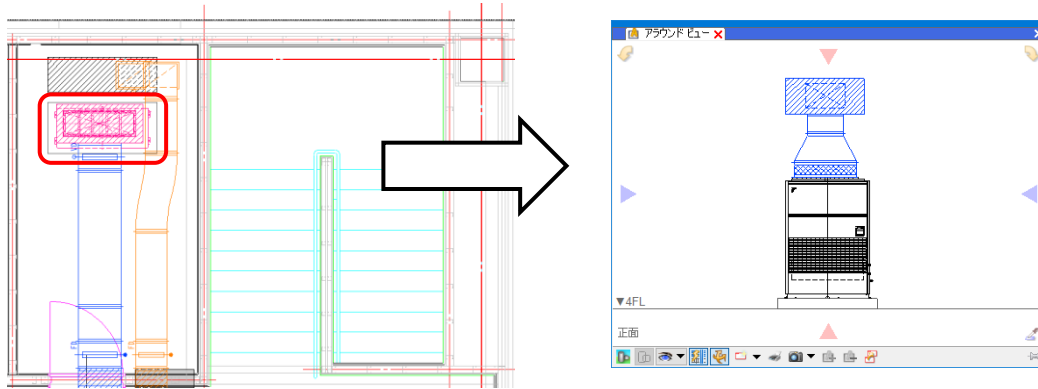
[断面図の作成]で記入した断面図記号の位置は、作成した断面ビューのクリップの範囲と連動しています。そのため断面ビューを削除した場合は連動している断面図記号も削除されます。また、平面ビューの断面図記号をダブルクリックすると、連動した断面図のビューに表示が切り替わります。

断面ビューのメニュー内にある[断面図記号の作図]で対象のビューの断面図記号を作図することができます。

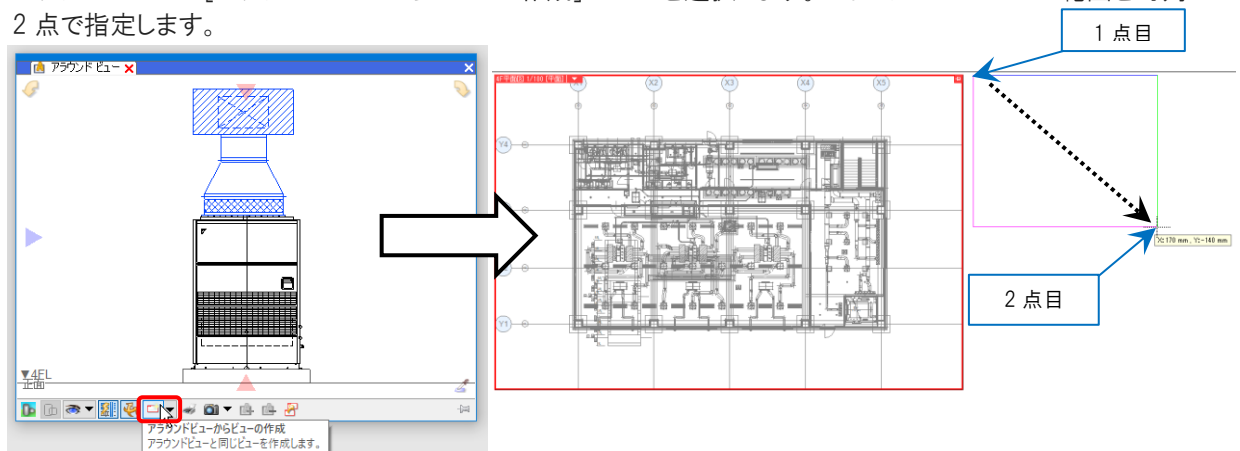


▼A2 [ア라운드ビューからビューの作成]コマンドを使います

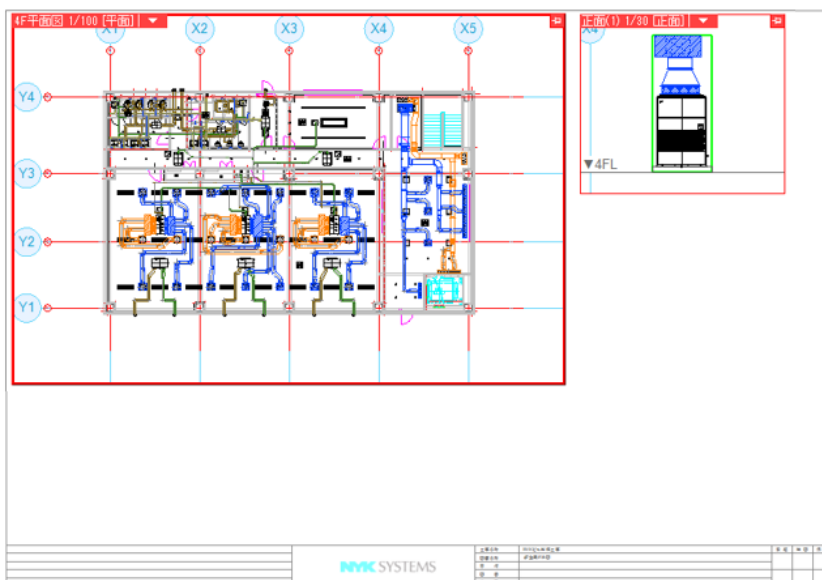
1 断面図に表示したい要素または範囲を選択し、ア라운드ビューを起動します。



2 ア라운드ビューの[ア라운드ビューからビューの作成]コマンドを選択します。レイアウト上でビューの範囲を対角の2点で指定します。



3 指定した範囲に断面図が作成されます。



●補足説明

[断面図の作成]、[ア라운드ビューからビューの作成]で作成したビューには、クリップが設定されています。クリップは指定した範囲(緑の枠)内に含まれる要素を表示します。クリップの枠は印刷表示されません。